1. 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち【健康・福祉】進捗状況集計

達成状況評価基準	令和元年度評価		事業総合評価	
	取組数	割合	取組数	割合
A【100%又は100%以上】…事業が完了 又は 目標以上成果があった	15	22.1%	10	14.7%
B【70%～A未済】…検討課題がほぼなく 又は あるものの事業を実施中	50	73.5%	55	80.9%
C【50%～B未済】…事業の実施準備が完了 又は完了し事業に着手	3	4.4%	3	4.4%
D【20%～C未済】…課題等への対応中 又は 事業の実施準備がほぼ完了	0	0.0%	0	0.0%
E【0%～D未済】…未着手 又は 着手に向けて検討中	0	0.0%	0	0.0%

令和2年度事業の方向性						
評価	取組数	割合	評価	取組数	割合	
A	7	10.3%	C	1	1.5%	
B	1	57		83.8%	2	0.0%
	2	2	2.9%	D	1	0.0%
	3	1	1.5%		2	0.0%
				3	0.0%	

※事業の方向性に関する説明は、【資料1】の1ページ目をご覧ください。

【健康・福祉】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和2年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
1 誰もが健康で思いやりのある暮らしを育むまち【健康・福祉】								
1 健康づくりと地域医療								
1 母子保健対策								
1	健康教育事業の実施		令和元年度実施事業、事業実績は次のとおりです。 母親父親教室(延28人) 離乳食講習会(延26人) 1歳児歯科指導教室(延45人) 親子ふれあい教室(延119人) 育児応援教室(延104人) ママと子のセミナー(延20人) 将来につながるクッキング教室(4組 6人)	B	母親父親教室、離乳食講習会、1歳児歯科指導教室、親子ふれあい教室、育児応援教室、親子のおやつ作り教室、ママと子のセミナーを引き続き実施し、学齢期の子どもたち向けの健康教育については、見直しをし取り組みます。	B1	B	子育て健康課
2	健康診査の実施		受診者数 3か月児健診(対象:56人 受診:57人) 1歳6か月児健診(対象:77人 受診:75人) 2歳児歯科健診(対象:67人 受診:63人) 3歳児健診(対象:68人 受診:68人)	A	就園までの健診等が実施でき、前乳幼児の健康管理が実施できるよう、状況を把握していきます。 令和2年6月より情報連携(マイナンバー関係)がはじまるにあたり、健康管理システムが導入されるため、健診受診状況についてはシステム管理を行っていきます。	B1	B	子育て健康課
3	育児相談の充実		子育て相談室のびのびにおいて、個別相談の実施しました。各相談の実績は次のとおりです。 すくすく育児相談 実86人、延316人 おっぱい相談 実19人 延28人	A	令和2年度実施事業は、すくすく育児相談、おっぱい相談を実施し、子育て相談室のびのびにおいても随時相談対応を行っていきます。	B1	A	子育て健康課
4	未熟児、乳児訪問等の訪問指導事業の強化		令和元年度実施事業、実績は次のとおりです。 妊婦訪問 実4人 延5人 産婦訪問 実54人 延57人 低出生体重児訪問 実5人 延5人 転入訪問 実21人 延21人 医療機関からの連絡等により必要なケースは、早期に対応しました。転入訪問は、就学前児童まで拡大し訪問しました。	A	令和2年度についても、妊産婦訪問、低出生体重児訪問、新生児・乳児訪問、転入訪問を実施します。	B1	A	子育て健康課
5	乳児家庭全戸訪問事業の推進		乳児家庭全戸訪問事業 57件 訪問指導事業とも合わせて全数訪問に取り組みました。	A	乳児家庭全戸訪問事業を継続して実施します。	B1	A	子育て健康課
2 成人保健対策								
1	特定健康診査・高齢者健康診査・保健指導の実施		令和元年度実施事業は次のとおりです。 特定健康診査 集団 596件 施設 55件 高齢者健康診査 集団 275件 施設 39件 特定保健指導 動機付け 71件(うち結果説明 43件) 積極的 18件(うち結果説明 14件)	B	令和2年度についても、特定健康診査、高齢者健康診査、特定保健指導を実施していきます。 受診者数は増えたが、受診率は目標値に達していないため、未受診者対策の実施及び保健指導の実施方法の検討を行います。	A	B	子育て健康課

【健康・福祉】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和2年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
	2	がん検診の実施	胃がん検診 実486人(集団)、実3人(施設) 大腸がん検診 実844人 肺がん検診 実850人 前立腺がん検診 実343人 乳がん検診 実191人(集団)、実77人(施設) 子宮がん検診 実160人(集団)、実80人(施設)	B	各種がん検診を実施していきます。 胃がん検診(バリウム、内視鏡、リスク) 大腸がん検診・肺がん検診 前立腺がん検診 乳がん検診・子宮がん検診	B1	B	子育て健康課
	3	各種健康教育・健康相談の実施	チャレンジデー(実67人)、スポレク祭(台風の影響により中止)、九八体操教室(延24人)、食生活改善推進団体現任教育(延27人)、ふくしあったかフェスタ(新型コロナウイルス感染予防対策により中止)、生活習慣病予防教室(延213人)を実施しました。	B	スポレク祭、九八体操教室、食生活改善推進団体現任教育、ふくしあったかフェスタ、生活習慣病予防教室を実施します。	B1	B	子育て健康課
	4	未病センターの活用	未病センターを活用した事業として、チャレンジデー(実67人)、ウォーキング&体力チェック(延39人)、ふくしあったかフェスタ(新型コロナウイルスの感染予防対策により中止)、健康支援プログラム(延43人)を実施しました。	B	定例ウォーキング、ふくしあったかフェスタ、体力測定会、健康支援プログラムを実施します。	B1	B	子育て健康課
3 感染症対策事業								
	1	各種予防接種事業の啓発推進	定期予防接種を実施しました。 小児インフルエンザ任意予防接種費用助成事業を開始しました。	B	定期予防接種を実施します。 10月からはロタウイルス定期接種化となります。 小児インフルエンザ任意予防接種費用助成事業の学校を通じた普及啓発を行います。	B1	B	子育て健康課
	2	風しん対策の啓発推進	妊娠を希望している女性の予防接種 13件 配偶者・パートナーの予防接種 8件 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性にクーポン券発行し、風しんの抗体検査及び予防接種 クーポン発行 1,405人 うち抗体検査実施 86人 予防接種対象者 27人 うち接種者 23人	B	クーポン対象の男性への普及啓発及び大人の風しん予防接種として、妊娠を希望している女性およびその配偶者・パートナーに対する予防接種の実施します。	B1	B	子育て健康課
	3	新型インフルエンザ対策の啓発推進	情報伝達訓練を実施(11/9)しました。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染症予防の普及啓発を行いました。	B	新型コロナウイルス感染症が蔓延しないよう、町民への感染症予防対策の徹底、及び庁舎内での感染症予防対策を実施します。新型コロナウイルス感染症対策に関連した各種事業について、情報共有を行います。また、新型インフルエンザ情報伝達訓練を実施します。	A	B	子育て健康課
4 健康づくり組織の育成・支援								
	1	食生活改善推進団体への支援	1市5町食生活改善推進員養成講座(受講者なし) 食生活改善推進団体現任研修(延27人)を実施しました。	B	食生活改善推進員養成講座、食生活改善推進団体現任研修を実施します。	B1	B	子育て健康課
	2	健康づくり普及員の育成	令和元年度の事業、実績は次のとおりです。 健康づくり普及員 24名(欠員3地区) 松田町健康づくり普及員・母子保健推進員定例研修会(9回実施、延144人) 出張型健康教室(1回実施、延8人) ウォーキング&体力チェック(7回実施、延39人)	B	松田町健康づくり普及員・母子保健推進員定例研修会、出張型健康教室、ウォーキング&エクササイズ事業を実施します。	B1	B	子育て健康課
5 医療体制の充実と連携								
	1	医療機関との連携強化	医療懇話会を開催(9/18)し、足柄上病院関係者、町内開業医、町内歯科医院、町内薬剤師代表と行政が一堂に会し、今年度の行政の新規事業の報告や意見交換を行いました。	B	町内医療機関等との医療医療懇話会を開催し、顔の見える関係づくりを図ります。	B3	B	子育て健康課
	2	休日急患診療所等の救急医療体制の充実	休日急患診療所における松田町民の利用は、239件(2,479件中)、年末年始歯科休日急患診療事業松田町民の利用は2件(21件中)となっています。	A	足柄上地区休日急患診療所の運営支援、広域二次病院群輪番制運営事業の支援、足柄上地区年末年始歯科休日急患診療事業の支援について、引き続き、1市5町共同で支援していきます。	B1	A	子育て健康課
	3	災害時医療のための連携強化	県西地域災害医療対策会議において、災害時に備え、情報伝達訓練の実施しました。	B	県西地域災害医療対策会議において、訓練等実施していきます。	B1	B	子育て健康課

【健康・福祉】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和2年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
6 医療体制の整備								
1	国民健康保険診療所の医療機器の計画的な更新		①小型分包機の更新を行いました。省スペース型となり、分包速度も速くなり患者の待ち時間の短縮に繋がりました。 ②レントゲン画像読取装置の購入については、デジタル化に伴い現像することがなくなり診察時間の短縮となりました。モニター画面に表示されるため、拡大も容易にでき細部の確認に役立っています。データ保存のため、保存場所の縮小と他医療機関への画像のデータ提供が可能となり、産業廃棄物である現像液の削減にもなりました。	A	耐用年数を迎えた医療機器等がないため、令和2年度の機器の更新予定ありません。	B1	A	町民課
7 健康増進計画等と健康づくりプログラムの整備								
1	健康増進計画等に基づく健康づくり事業の展開	優先	松田町健康増進計画・食育推進計画策定委員会を1回開催し、計画の進行管理を実施しました。	A	松田町健康増進計画・食育推進計画策定委員会を1回（10月予定）開催し、計画の進行管理を実施します。	B1	B	子育て健康課
2 地域福祉								
1 町民主体の地域づくり								
1	ふれあい相談員の育成・配置		担当地域の「地域の茶の間」への参加・相談対応・他町の活動視察を行いました。	B	4月から1名欠員となるため、新たな人員を確保します。また、ふれあい相談員情報交換会（新規相談員への情報提供等）を開催します。	B1	B	福祉課
2	地域の茶の間の活動の推進	重点	「地域の茶の間」活動の拡大、また、新たな参加者の発掘を促しました。	B	引き続き、ふれあい相談員の方々とともに「地域の茶の間」への参加者の拡大と新たな「地域の茶の間」が開始できるよう、地域に入り込んで推進します。	A	B	福祉課
3	地域福祉計画の策定・推進	優先	他の福祉分野の上位計画であるため、他計画の進行管理が済み次第、進行管理を行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響もあり、全体的に遅れが生じている。3月末までできていない状況です。	C	前年度分の進行管理の実施は5月までに行えるよう、各所属、各団体へのヒアリングを行います。	B1	B	福祉課
4	社会福祉協議会との協働		「地域の茶の間」連絡会の開催、一人暮らし高齢者への防火指導、障がい者団体への支援 独居高齢者への年末慰問品配付等において、協働・連携協力して実施しました。	B	引き続き、「地域の茶の間」連絡会の開催、一人暮らし高齢者への防火指導、障がい者団体への支援 独居高齢者への年末慰問品配付等において、協働・連携協力して実施します。	B1	B	福祉課
5	民生委員児童委員、ふれあい相談員及び自治会長との連携強化		前年同様、自治会長連絡協議会役員と民生委員児童委員協議会役員との話し合いを行い、地域課題について共通認識を持ち課題解決に向けた話し合いを行う予定だったが、新型コロナウイルスの感染予防のため中止となってしまいました。	B	「地域福祉」の担い手として自治会、民生委員児童委員、ふれあい相談員の連携を強化していきます。また、一斉改選後の民生委員児童委員とふれあい相談員との顔合わせ、話し合いも今年度実施予定としています。	A	B	福祉課
3 社会保障								
1 介護保険サービスの充実								
1	介護保険事業計画の策定・推進		第7期介護保険事業計画等における進行管理を行いました。なお、新型コロナウイルス感染拡大抑制のため、書面会議にて開催しました。介護予防事業の推進に伴う実績、介護（予防）サービス費の実績（R1）を書面により報告しました。日常生活圏域ニーズ調査等を実施しました。	A	昨年度行ったアンケート結果からみえる町の課題を踏まえ、第8期介護保険事業計画等策定を行います。令和3年度から3年間に必要な介護サービスや介護保険料の算定を高齢者人口、認定率、介護サービス量などの実績と今後の推計を基に計画を策定します。	B1	C	福祉課
2	介護保険料の収納率の向上		滞納者を対象に、分納処理、電話催促、戸別訪問を行いました。収納率：96%（現年度分）、滞納繰越分：45.7%	B	引き続き、滞納者を対象に分納処理、電話催促、戸別訪問を行います。また、根気よく調査や情報を手に入れ対策を考えていきます。	B1	B	福祉課
3	介護保険・高齢者福祉サービスの充実		第8期介護保険事業計画等を策定に向け、町民が望む介護サービスや高齢者福祉施策を調査するためアンケートを実施しました。また、地域密着型サービス事業所の実地指導を実施しました。	B	アンケート結果を踏まえ、町民が望む介護サービス事業者や町の特性を生かした高齢者福祉に特化した事業所の誘致など第8期介護保険事業計画に反映していきます。また、町指定の介護サービス事業所の実地指導を実施します。	B1	B	福祉課
2 介護サービスの適正な提供と利用体験づくり								
1	事業者指導		町内にある介護保険サービス事業所の実地指導を行いました。（地域密着型通所介護サービス事業所）しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2件は実施することができませんでした。実績：1件、未実施：2件	B	計画的に町内にある介護保険サービス事業所（町指定事業者限定）の実地指導を行います。（5年に1度）実施予定件数：2件	B1	B	福祉課

【健康・福祉】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和2年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
	2 介護給付適正化事業		次の業務を実施しました。 ・「介護給付費のお知らせ」の送付：年4回発送 ・住宅改修等の点検：8回（20件） ・ケアプラン点検：未実施	B	令和2年度については、 ・県国民健康保険団体連合会から提供されるケアプラン分析などの資料を基に点検 ・「介護給付費のお知らせ」を送付 ・住宅改修等の点検 を行っていきます。	B1	B	福祉課
	3 介護相談員事業		松田町内及び町外にある施設（特別養護老人ホームやグループホームなど）に入所している利用者を介護相談員が訪問し傾聴を行いました。必要に応じて要望も行いました。	B	松田町内及び町外にある施設（特別養護老人ホームやグループホームなど）に入所している利用者を訪問し傾聴を行い、必要に応じて施設へ要望します。	B1	B	福祉課
	3 地域包括支援センター機能の強化							
	1 地域包括支援センターの機能強化と高齢者向け相談の充実		高齢者の多様化したニーズに対し、適切な情報提供を行いました。 ・必要に応じて医療機関や、介護認定を行い、介護サービスに繋がりました。	B	住み慣れた地域でいつまでも住み続けるために、高齢者の多様化したニーズに対し、適切な情報提供を行います。	B1	B	福祉課
	2 地域包括支援センター業務の現状分析と関係機関との連携調整		地域包括支援センター運営協議会は書面会議として実施しました。	B	地域包括支援センター運営協議会の開催し、当該年度に実施する事業の点検と評価並びに、令和3年度から始まる第8期介護保険事業計画に実施に向け必要な事業を選定していきます。	B1	B	福祉課
	3 高齢者の実態に基づく地域支援事業への展開		家族や居宅介護支援事業者などからの相談をもとに対象者の実態を把握しました。内容に応じて本人にとって適切な対応がとれるよう関係機関と連携し調整を行いました。必要に応じて介護予防事業につなげました。	B	民生委員や家族などの相談をもとに対象者の実態を把握します。また、相談結果をもとに家族の要望や本人の状況を考慮し、必要な事業（介護予防事業等）や関係機関につなげ連絡調整を図ります。	B1	B	福祉課
	4 国民健康保険の充実							
	1 賦課方式・保険税の見直し		国民健康保険税の賦課方式を4方式から3方式に変更するため、令和3年度の資産割廃止に向けて資産割を段階的に引き下げました。なお、経過措置として、後期高齢者支援分と介護納付金分の段階的な引き上げを行いました。あわせて財産調査や差押等を積極的に行い、保険税の確保に努めました。	A	令和3年度の資産割廃止に向けて資産割を段階的に引き上げていきます。なお、経過措置として、後期高齢者支援分と介護納付金分の段階的な引き上げを行います。あわせて財産の調査や差押等を積極的に行い、引き続き保険税の確保に努めます。	B1	A	町民課
	2 医療費支出の適正化		レセプト点検員を非常勤雇用し、レセプトの再審査申請などを行い医療費の精査・分析を行いました。後発医薬品使用の促進のため、お知らせを送付しました。また、重症化すると医療費にも大きな影響を与える糖尿病について、その重症化予防として、管理栄養士による健康相談や医師によるセミナーを開催しました。	B	前年度における実施事業を継続して実施していきます。糖尿病性腎症重症化予防事業を含むヘルスアップ事業については、専門的な知識を持つ管理栄養士を引き続き通年雇用し、事業の強化を図ります。内容についてマンネリ化しないよう題材を変えるなど工夫し、運動指導を追加することにより更なる事業の充実を図ります。	B1	B	町民課
	3 保健事業・健康づくり活動の推進		①早期介入保健指導事業（国保被保険者30代の方に健康診査受診勧奨を実施）では健診受診者8名 ②糖尿病性腎症重症化予防事業（糖尿病重症化リスクの高い方に受診勧奨と健康指導を行う）では7名に保健指導を実施 ③地域包括ケアシステム推進事業（主観的健康観アンケート、メンタルヘルスチェックシステム263件のアクセス、健康の見える化事業と講演会を実施）しました。	B	前年度実施した①は、若い年代の方が受診しても結果が悪い人がほとんどなく事業の効果がないと判断し廃止しました。②③はマンネリ化しないよう内容を見直して実施します。今年度は新たに特定健診の未受診者対策に注力し、受診歴等により勧奨方法を変えるなど工夫を加え受診率の向上を目指します。	B1	B	子育て健康課
	4 児童福祉							
	1 地域における子育ての支援							
	1 子育て支援センターやファミリー・サポートセンター事業の充実	重点	町内に2か所ある支援センター（町立1・私立1）では、子育てに関する悩みなどを気軽に相談できる場を提供。さらに定期的に講座やイベントの開催、土曜開所を行いました。また、ファミサポでは、預かりや送迎のほか子育てに関して必要なサポートを実施しました。なお、町立の支援センターとファミサポの実施場所が、令和元年5月に松田町創生推進拠点施設（suprapo）へ移転しました。 ○町子育て支援センター：8,006人 ○すこやか：1,408人 ○ファミサポ 会員：366人（支援：241人 依頼：71人 両方：54人） 件数：716件	A	支援センターでは、子育て世帯をサポートするための拠点として、利用者が気軽に利用できるよう各種行事を定期的に開催していきます。 またファミサポでは、会員交流会の開催やリフレッシュ講座を通じ、会員間の交流の場を設け、利用しやすい環境づくりを行うことで会員間の相互支援活動の促進を図っていきます。	A	B	子育て健康課
	2 学童保育室の推進		松田学童保育室（3クラス）、寄学童保育室（1クラス）において、平日の放課後、土曜日及び夏休み等の長期休暇に学童保育室を開所しました。 利用者：97人（松田：89人、寄：8人） 長期休暇のみの利用者：18人（松田：16人、寄：2人）	B	放課後児童の健全育成を図るため、松田学童保育室（3クラス）、寄学童保育室（1クラス）において、平日の放課後、土曜日及び夏休み等の長期休暇に学童保育室を開所するとともに、保育内容の充実を図っていきます。	B1	B	子育て健康課

【健康・福祉】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和2年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
2 保育サービスの充実								
1	保育施設の整備・推進		令和元年10月に0～2歳児を対象とした小規模保育所なのはな保育園を開設しました。また、松田さくら保育園では定員を超えた児童の受け入れを行い、待機児童の解消、保育環境の充実、事業の拡充に努めました。 令和元年度未入所児童数：155人 5歳児:25人 4歳児:31人 3歳児:25人 2歳児:31人 1歳児:25人 0歳児:18人	A	利用者の生活実態や多様化するニーズを踏まえ、保育施設の整備やサービスの充実を図っていきます。	A	B	子育て健康課
2	延長保育や乳児保育の充実	重点	0～2歳児を対象とした小規模保育所なのはな保育園を開設しました。また松田さくら保育園となのはな保育園において、通常保育時間外の18:00から19:00までの延長保育や0歳（生後4か月）～2歳の乳児保育を実施しました。 ○延長保育 実施日数:240日 利用者数:280人(各月実人数合計) ○乳児保育 令和元年度未入所児童数:74人 (0歳:18人 1歳:25人 2歳:31人)	A	松田さくら保育園及びなのはな保育園において、延長保育事業・乳児保育事業を実施します。	A	B	子育て健康課
3 経済的な支援の充実								
1	児童手当の支給		申請に基づき6月、10月及び2月に支給を行いました。 対象児童数(延べ)：11,719人 支給額：127,315,000円	B	児童手当法に基づき、中学校修了前までの児童を養育している方に継続して支給します。	B2	B	子育て健康課
2	小児医療費の助成・支援対象の検討		申請に基づき認定・現物支給及び償還払い請求により助成を行いました。 対象児童数：1,022人(H31.4.1時点) 支払総額：37,479,144円 ・小児医療費：36,357,497円 ・手数料：1,121,647円	B	松田町小児医療費助成に関する条例及び同施行規則に基づき、中学校修了前までの児童を養育している方に継続して助成します。	B2	B	子育て健康課
3	ひとり親家庭等の医療費助成		申請に基づき認定、現物支給及び償還払い請求により助成を行いました。 ・ひとり親家庭等63世帯(H31.4.1時点) ・医療費:6,254,448円 ・手数料:144,011円	B	松田町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例及び同施行規則に基づき、ひとり親家庭の親及び子に掛かる医療費を継続して助成します。	B1	B	子育て健康課
4	子育て世帯支援事業	優先	申請に基づき、水道料金の基本料金相当額(上限額8,424円(湯の沢地区8,812円))を支給しました。 ・件数:379世帯 ・補助金総額:3,110,470円	B	松田町子育て世帯支援事業補助金交付要綱に基づき、水道料金の前年度分支払い済み基本料金相当額を補助します。	B1	B	子育て健康課
4 児童虐待防止対策の推進								
1	要保護児童対策地域協議会の開催		要保護児童対策地域協議会代表者会議(年1回)において、町の取り組み状況等についての報告、実務者会議(年3回)においては、町でかかっているケースの進行管理を兼ねた関係機関の情報交換を行いました。要保護ケース8件 要支援ケース 14件 関係機関として、新たに社協に加わっていただき、見守り支援をしていただきました。	B	要保護児童対策地域協議会代表者会議(年1回)において、町の取り組み状況等についての報告、実務者会議(年3回)においては、町でかかっているケースの進行管理を兼ねた関係機関の情報交換を行います。	B1	B	子育て健康課
2	児童家庭相談援助活動の推進		非常勤児童相談員を配置(月9日)しました。勤務日でない日の通告・相談等は、保健師が対応しました。 新規受理件数 6件	B	非常勤児童相談員を引き続き配置(月10日)するとともに、保育園、幼稚園など現場の職員に向けた講座を開催します。	B1	B	子育て健康課
3	養育支援家庭訪問事業の推進		養育支援家庭訪問を実施しました。 件数 54件(実28件)	B	引き続き養育支援家庭訪問の実施していきます。	B1	B	子育て健康課

【健康・福祉】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和2年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
5 高齢者福祉								
1 高齢者福祉の充実								
1	高齢者福祉計画の策定・推進		介護予防事業の事業評価を行い、第8期高齢者福祉計画策定に向け町民を対象に日常生活圏域ニーズ調査を実施しました。	B	生涯にわたる健康づくりを推進し、寝たきりや要支援・要介護にならないように介護予防の充実を図ります。 第8期高齢者福祉計画を策定します。	C1	B	福祉課
2 認知症高齢者支援対策								
1	認知症初期集中支援の体制整備と推進		認知症初期集中支援を推進しました。また、認知症初期集中支援チーム員の増員（4名）を図りました。 対象者宅訪問13回、会議11回	B	認知症初期集中支援を推進していきます（早期対応）。また、認知症初期集中支援チーム員の増員を行っていきます。	B1	B	福祉課
2	認知症サポーター養成講座		令和元年度に行った事業、実績は次のとおりです。 ・認知症サポーター養成講座18回 440人参加 ・講演会開催、認知症カフェ開催10回 308人参加 ・家族のつどい3回、認知症予防教室14回	B	令和2年度においては、 ・認知症サポーター養成講座及びステップアップ研修 ・認知症予防教室、家族のつどい、認知症カフェ を実施していきます。	B1	B	福祉課
3	高齢者虐待防止普及啓発事業		高齢者虐待防止に向けた町民への周知とネットワークづくりの準備を行いました。	C	高齢者虐待を起こさない、住みやすい地域づくりを目指し見守り体制を整えます。 高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会の開催します。	B1	C	福祉課
4	成年後見制度利用支援事業		成年後見制度利用者への後見人等の報酬の助成を3件実施しました。	B	引き続き、市町村申し立ての実施、成年後見制度利用者（低所得者）への後見人等の報酬の助成を行っていきます。	B1	B	福祉課
5	成年後見センター設置		足柄上地域における成年後見センター設置に関する検討会を実施、課題点の取りまとめと中核機関を担う機関の検討を行いました。 権利擁護に伴う個別相談を実施しました。	B	引き続き、足柄上地域における成年後見センター設置に関する検討会を実施していきます。また、権利擁護に伴う個別相談を実施します。	B1	B	福祉課
6	総合相談・支援		総合相談・支援として、地域ケア会議を2回開催し、ケアマネ連絡会を1回開催しました。	B	地域ケア会議、ケアマネ連絡会などによる相談によって、課題の解決と情報共有を実施していきます。	B1	B	福祉課
7	介護家族支援		介護家族支援として、 ・家族介護教室 6回 ・家族介護慰労金支給事業 5名 ・家族介護用品支給事業 32名（月支給限度額5500円） を実施しました。	B	令和2年度においても引き続き、家族介護教室の開催、家族介護慰労金の支給、家族介護用品の支給を行っていきます。	B1	B	福祉課
3 介護予防・福祉サービスの充実								
1	高齢者生活支援等サービスの充実と生活支援サポーターの養成		生活支援サービスコーディネーター業務を町社会福祉協議会に委託しました。また、協議体を設置し2回開催しました。	B	生活支援サービスコーディネーター業務を町社協へ委託し、協議体を通じて取組等を検討します。併せて支援の担い手の養成とその支援を推進します。	B1	B	福祉課
2	地域を単位とする自主的介護予防活動への支援と介護予防サポーターの養成		令和元年度事業の内容・実績は、 ・介護予防サポーターの養成研修 7回 5人養成 ・介護予防サポーター現任研修 3回 延べ59人 ・出前型介護予防教室の開催 13回	B	令和2年度においては、介護予防サポーターの養成研修、介護予防サポーター現任研修、出前型介護予防教室を開催します。	B1	B	福祉課
4 生きがい対策事業								
1	社会福祉協議会との協働（再掲）		「地域の茶の間」連絡会の開催、一人暮らし高齢者への防火指導、障がい者団体への支援、独居高齢者への年末慰問品配付等を行いました。	B	令和2年度においても引き続き「地域の茶の間」連絡会の開催、一人暮らし高齢者への防火指導、障がい者団体への支援、独居高齢者への年末慰問品配付等を行います。	B1	A	福祉課
2	シニアクラブ松田の活動等自主活動への支援		シニアクラブ松田及び種目別クラブへの財政支援、出前型介護予防事業の開催、町民大学を実施しました。	B	引き続き、シニアクラブ松田及び種目別クラブへの財政支援、出前型介護予防事業の開催、町民大学を実施します。	B1	B	福祉課
3	シルバー人材センターへの支援		「シルバー人材センター」事務局職員の人件費補助、敬老会でのチラシ配付、広報等を行いました。	B	人件費の補助、及び会員増に繋がる提案等を行っていきます。	B1	A	福祉課
5 在宅医療、介護との連携の推進								
1	在宅医療ネットワーク推進事業		ケアマネジャーの研修（年1回）、医療機関、薬局、介護サービス事業所マップの作成と配布、在宅医療介護・連携支援センター相談（件数：21件）、医療・介護関係者へ研修（1回）を開催しました。	B	ケアマネジャーの質と向上を目的に年1回の研修、相談をいただいた対象者に対し関係機関（病院や介護事業所等）と連携した支援（相談件数13件）、医療・介護関係者への研修（1回）等を行っていきます	B1	B	福祉課

【健康・福祉】施策評価

項目	取組名称	まちづくり戦略 (優先・重点)	令和元年度事業内容・実績	令和元年度 評価	令和2年度における事業内容	令和2年度の 方向性	事業総合 評価	担当課
6 障害者福祉								
1 相談・支援事業の充実								
1	障がいの早期発見・早期療育の充実		子育て健康課で月4回実施の「こあら教室」に月1回作業療法士を派遣し、保健師から保護者へのアドバイス、または必要に応じて児童発達支援センターへの繋ぎが行われました。	A	前年度同様、「こあら教室」への作業療法士の派遣を行います。	B1	B	福祉課
2	地域包括ケアシステム構築		足柄上地区地域自立支援協議会で精神障害にも対応した「地域包括ケアシステムの構築」のための「保健・医療・福祉関係者による協議の場」設置についての検討を行ってきました。	C	前年度に引き続き、実現に向けての連携・支援体制について検討を行っていきます。	B1	C	福祉課
3	成年後見センター設置・中核機関の検討		足柄上地域1市5町の障がい及び高齢介護担当者、足柄上センターで構成された検討会を行い、障がい、介護の立場から課題点をまとめました。	B	圏域で設置予定の「あしがら後見センター」は、他県の事例等を参考に検討を行ってきました。今後、引き続き担当者による検討を行っていきます。	B1	B	福祉課
2 福祉サービスの充実								
1	重度障がい者の医療費助成		身体障害者手帳1.2級、精神障害者福祉手帳1級、知能指数35以下等に該当する方で、町から発行した「重度障害者福祉医療証」を取得した187人に医療費の助成を行っています。	A	前年同様に助成事業を継続して実施します。	B1	A	福祉課
2	障害者総合支援法によるサービスの推進		訪問系サービス、日中活動サービス、居住系サービス、障害児通所支援給付等延約330人の利用者に支援を行いました。	A	利用者が求める支援の提供を今後も引き続き行っていきます。	B1	A	福祉課
3 自立への社会環境づくり								
1	障がい者の社会参加支援の促進		平成30年度から始まった就労移行支援の利用者の中から、一般就労を半年経過後、就労定着支援に繋がった利用者は、前年度より1名増の3名となりました。	B	前年度同様、就労移行支援の利用者に対し、就労定着支援の福祉サービス支援を行っていきます。	B1	B	福祉課
4 障害者計画・障害福祉計画等の改定・推進								
1	障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の改定・推進		令和2年3月に進行管理を書面会議にて実施。受給者のニーズにあっているか。また、手帳取得者の推移について意見をいただき検討を行いました。	B	第3次松田町障害者計画の進行管理、令和3年度からの第6期松田町障害福祉計画、第2期松田町障害児福祉計画の策定を進めます。	B1	B	福祉課